

のもとよしみ通信 NO. 2

2007年7月



事務所 〒229-0202 相模原市藤野町沢井1215 Tel&Fax 042-687-5119

E-mail iki-iki-nonohana@nifty.com <http://homepage2.nifty.com/nomotoyoshimi>

赤ちゃんからお年寄りまで
いきいきと暮らせるまちに

コムスンの不正問題 問われる介護保険制度

不正問題にゆれるコムスン(3ページ参照)。消えた年金記録。値上がりした住民税。6月は、私たちが不安や心配になる問題が次々と起きました。国会や議会で決めたことが、家計や生活に大きく影響すると実感されたのではないのでしょうか。

私にとって初めての市議会定例会、6月議会の報告です。6月補正予算は、総額で約25億円。うち藤野町には約9億2千万円、城山町には約5億円の投資的経費が計上され、可決されました。

通信NO.1でもお伝えしましたが、一般質問の人数が制限され、6月議会でのもとよしみは一般質問ができませんでした。しかし、所属する民生委員会では、後期高齢者医療制度やコムスン関連の現状や課題を明らかにし、対策を求めました。

また、みなさんに、市政と市議会の情報をお伝えするため、議会運営委員会や所属しない常任委員会も傍聴しました。通信をお読みいただき、ご意見やご感想をいただければ幸いです。

のもとよしみの今後の活動にご期待ください。



相模湖駅にて



第1回 水源地域対策特別委員会 開催

7月12日に開かれた委員会では、環境保全部から県の水源環境保全・再生施策について説明がありました。水源環境税5ヵ年分、約190億円(県民1人当たり約950円/年の負担、年額約38億円×5年)のうち市町村事業として見込まれる80億円の58.1%、46億4900万円が相模原市の事業に投入されます。対象事業は4事業で下水道整備、合併処理浄化槽の整備、河川の自然

浄化対策、水源林整備です。

のもとよしみは、水源地域の実態に合った対象事業の拡大を県に要請すること、合併処理浄化槽の普及対策、市町村設置型合併処理浄化槽の検討を求めました。

次回は津久井地域への視察を行います。森林の荒廃状況、簡易水道・組合水道の現場、合併処理浄化槽対象地域、不法投棄の状況を実態調査し、委員会で対策を検討していきます。

のもとしみの常任委員会 レポート（主なもの）

総務委員会

□「政令指定都市」に関連した質疑が、数多く出されました。



政令市になると市をいくつかの区に分け、区役所を置くことになります。また、県から 1000~1500 の事務が市に移譲されます。しかし、他の政令市を見ると、移譲された事務を行うのに十分な財源は保障されていません。政令市になってどれだけの財源確保が見込めるか、区役所にどれだけの権限や財源を与えるかなど、検討しなければならない課題はたくさんあります。

県から移譲される事務の範囲や、区の数、区役所の位置と機能などについて、市は今年度中に基本構想を策定する予定です。

のもとしみは、私たち市民の生活や住民自治を向上させ、地域特性に合った施策を行える行政制度の確立をめざして、活動していきます。

想定スケジュール



環境経済委員会

□相模湖林間公園グランド
硬式野球再び可能に



合併後、安全対策不十分で、硬式野球での使用が禁止されていた当グランド。防球ネットの工事が終わり、使用が可能に。津久井地域のグランド使用について、「地域特性や団体の特徴などをふまえ、優先的使用について配慮していく」との答弁がありました。

□津久井地域の観光振興について

今年、3月に観光マップ 40 万部作成。今年度 8 回の観光バスツアーを計画。来年度からは、市はツアー計画を行わない方針。



合併効果が大いに期待される観光振興。今年度、市が計画するツアーの実績が、民間企業参入の糸口になります。“環境都市・相模原”を全国に発信するには、水源地域の観光振興が重要です。

市の積極的な施策を求めています。

建設委員会

□簡易水道の実態とこれから



津久井町青根簡易水道は、ダム補償費から毎年 6 千万円ほど繰り入れており、それも後 10 年ほどで底をつく。現在水道料金は定額で、1 軒 1680 円。県水へ移管すると 4 千円から 5 千円になる見込み。

藤野町では、簡易水道だけでなく小規模組合水道があり、今年度水道事業のあり方を検討し、水道事業基本方針を策定していくそうです。



簡易水道事業は、津久井町と藤野町だけの事業です。水源地でありながら、飲み水の確保に苦労しているという現実。残念ながら、水源環境税は水道整備事業には使えません。

水を安定して供給するには、統合や移管が必要ですが、水道料金の体系や水質が変わります。地区住民のみなさんとの十分な話し合いが必要です。

民生委員会

□課題山積！来春スタート 後期高齢者医療制度



のもとよしみが所属する民生委員会での審議はたったひとつ、「神奈川県後期高齢者医療広域連合」の規約変更。合併で消滅した藤野町、城山町を自治体数から減らすもので、議論の余地もありますが、医療制度に対する質疑や意見が相次ぎました。

後期高齢者医療制度とは、08年4月からスタートする高齢者医療制度です。75歳以上の高齢者と65歳以上の寝たきり高齢者が対象です。したがって、現行の老人医療制度は、08年3月でなくなります。

新制度の保険料は、現在1人あたり月額平均6200円という数字が示されています。今年秋に、保険料が決定される予定です。国保とちがい、保険料は世帯ではなく、個人にかかります。夫婦ともに75歳を超えていると、月に12400円、年金から天引きされます。(ただし、年金が月額1万5千円未満の場合は、個別徴収。)

今年4月に発令される予定だった政省令も、まだ出ていません。また、社会保障審議会が決定する診療報酬は、平成20年度に制定される予定です。障害者自立支援法などと同様、制度が始まってから、いろいろな問題が噴出することが今から懸念されます。

□コムスン問題 問われる市と県との連携

6月12日、20日に部会が開かれ、(株)コムスン問題について説明がありました。訪問介護事業者の認可および監査は、県が行います。市は介護保険の保険者でありながら、県からの情報が遅れたため、不安を抱く市民に対し、迅速で適切な対応がとれませんでした。

のもとよしみの質問で、県は5月9日に監査していましたが、その結果を市に連絡したのは、6月5日。コムスンが5月29日に4事業所を廃止し、統合した数日後だったことが判明しました。

そこで、私は次の点を要望しました。

- 1) 市民からの相談体制の確立
- 2) 県と協力し、他の事業所の実態調査を行うこと
- 3) 県の指導監査に同行できるよう、県からの情報提供を要請すること
- 4) 介護保険制度そのものの見直しを働きかけること
- 5) 他の事業所への影響など不測の事態に備えた職員体制を検討すること



利用者のみなさんがサービスを継続して受けられるように、市も県も責任を持つのは当然ですが、第2、第3のコムスンをつくらないためには、国が介護保険制度そのものを見直す必要があります。

そもそも、介護報酬が低すぎます。介護職に携わる友人からは、介護現場の厳しさや違反ストレスの運用を行うしか経営できない苦しい現状を聞いています。福祉を食い物にする輩は、厳罰に処すべきですが、ケアマネや介護者の労働条件は、改善されなければなりません。コムスン騒動を機に、介護保険制度の抜本的な改革を国は行うべきです。

文教委員会

□藤野小学校給食施設建設

市内初めてのオール調理電化。「イニシャルコスト(初期投資)は高いが、ランニングコスト(維持管理費)は低い。電磁波は、WHO(世界保健機構)などの安全基準に比べ低いので、人への影響はないと判断。」との答弁がありました。

藤野北小の給食は、藤野小からの配送となります。配送車が運動場を横切るため、助手を同乗させ、児童の安全確認に努めるそうです。

神奈川県における小学校給食は、平成20年度から、ようやく100%実施となります。



◇市政懇談会開催(藤野町 7月7日、相模湖町 7月8日)

市政懇談会は、年に1度、市が各地区に出向いて自治会長から市政への要望や意見を聞き、意見交換する場です。今年は市から副市長と局長らが出席。下記のような議題があげられました。

藤野町の議題

- ①ふじのマレットゴルフ場の有効利用
 ②沢井隧道拡幅工事 ③青地の問題 ④地上デジタル放送 ⑤小渕小の跡地利用 ⑥防犯灯
 ⑦通学路の改善 ⑧水道計画 ⑨公共下水道
 ⑩不法投棄 ⑪駅前整備 ⑫津久井広域道路と県道整備 ⑬牧野地域のスポーツ広場整備

相模湖町の議題

- ①内郷地区への複合的コミュニティーセンターの設置 ②安全・安心まちづくり対策
 ③通学路の整備 ④不法投棄と犯罪防止
 ⑤地上デジタル放送 ⑥小野林道の整備
 ⑦JR相模湖駅舎の橋上移設
 ⑧交通安全施設の設置

＜市からの回答＞主なもの

地上デジタル放送：今年度、共同アンテナなどの実態把握をし、今後庁内に担当窓口を置いて、NHKや国などの情報を集めたり、市民からの相談にのったりしていく予定。

不法投棄対策：今年度は、監視カメラを津久井地区に15台設置。パトロール車の巡回を強化し、津久井地区環境連絡協議会と連携をとりながら、防止に努める。

藤野駅・相模湖駅周辺整備：来年度、駅周辺整備構想をつくり、方向付けを行う。

防犯灯の管理：旧市内では自治会の管理になっている。合併後3年を目途に統合を図ることになっている。旧市内のあり方を含め、検討していく。

防災対策：一時避難場所の指定や備蓄場所のあり方など、『地域防災計画』の改定を住民のみなさんと相談しながら進めていく。

◇年金記録 市の窓口で郵送申請受付中

年金記録もれ問題で、国の「ねんきんあんしんダイヤル」に電話がつかない、社会保険事務所はどこにあるかわからない、自分の年金記録を調べたいが、どうすればいいかわからない、そんな方は市の窓口へどうぞ！

- ・申請窓口：国民年金課（Tel 042-769-8228）または総合事務所（旧町役場）市民課
- ・申請方法：①窓口で申請用紙に記入 ②電話
- ・準備するもの：基礎年金番号のわかるもの（年金手帳など）

*申請後、1、2週間程度で年金記録が社会保険庁から本人に宛てて郵送されます。

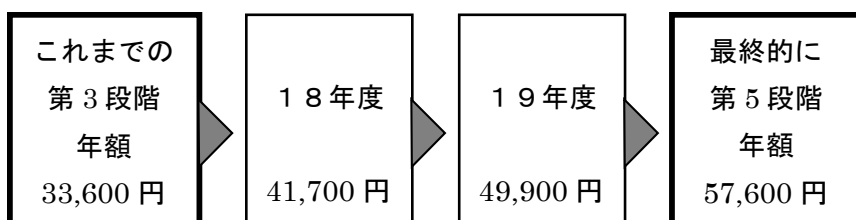
◇税制改正に伴う市の緩和措置

19年度から国税である所得税の一部が地方税である個人住民税へ移りました。また、19年度は定率減税が廃止となり、2つの理由で個人住民税が上がっています。

市では、税制改正に伴う急激な負担を軽減するため、下記の経過措置を実施中です。

○介護保険料（介護保険課：042-769-8321）

* 老年者非課税措置廃止による保険料上昇緩和の例



○保育料（保育課：042-769-8341）

所得税・住民税の定率減税の減税率を前年度と同様にし、負担増を軽減。また、2人以上入所の場合、19年度からは階層区分に関わらず、2人めの児童を50%、3人め以降の児童を90%減額。



6月補正予算可決 藤野地域の主な事業

□ 藤野総合事務所改修費 (4300万円)

平成20年度、町民センターを(仮)藤野中央公民館に建て替えるため、保健・福祉機能(検診場所、社会福祉協議会事務所など)を総合事務所内に移転するための改修

□ 日連消防団詰所・車庫整備 (2300万円)

□ 小学校給食整備事業(藤野小、藤野北小)(1億5040万円)(3ページ参照)

□ (仮) 藤野中央公民館実施設計・測量等 (1200万円)

□ 道路関連 (1億3390万円)

奈良本林道、嵯峨橋耐震補強、
下岩御霊線、新大橋川尻線、大刀葛原線など

□ 藤野駅周辺バリアフリー化事業 (8900万円)

藤野中学校方面から線路沿いに、緩やかなスロープで、駅構内にアプローチできるようにします。



□ 下水道整備事業 (2億1840万円)

今年度から水源環境税が投入されます。

□ 簡易水道事業費(5700万円)

牧野中央配水管敷設工事、水道事業基本方針策定委託費(2ページ参照)

□ 津久井地域6図書室資料データ化作業関連 (4435万円)

10月から、津久井地域の図書室にも端末が置かれ、市立図書館の約120万冊の検索ができます。家庭のパソコンからも検索が可能になり、市内図書館の本を近くの図書室に取り寄せられるようになります。



□ 藤野ふるさと芸術村メッセージ事業(アーツフィア) (500万円)

今年から市内全域から参加団体を公募することになりました。ただし、活動の発表場所は藤野町限定です。

□ 太陽の市場

□ やまなみクロスカントリー

□ 防犯カメラを各小・中学校に設置

□ AED設置(牧野公民館・佐野川公民館・藤野やまなみ温泉)



AED(自動体外式除細動器)とは

心臓突然死の切り札といわれています。心臓が止まった状態の患者さんにこの装置を装着すると、自動的に除細動が必要な不整脈であるかどうかをすばやく判断し、必要であれば除細動による治療を行う機器です。

操作は非常に簡単で、電源を入れれば、使用者が何をしたらよいか、音声ガイドなどで指示してくれます。



AED

ふじの版 あれこれ



小学校の夏休みプール開放 紆余曲折を経て実施へ

藤野町では、夏休みに小学校のプール開放を保護者の監視で行っていましたが、市は安全性と責任所在の点で問題があると判断。今年度は監視員がいる藤野中だけ開放の予定でした。しかし、保護者や地域の強い思いが市を動かし、市は監視員の予算を確保。短い期間ですが、藤野南小、吉野小、小湊小、藤野北小でも開放されます。

日連グランドの環境整備 これまでのご協力に感謝申し上げます

藤野町では、スポーツ広場や吉野のマレットゴルフ場などは、管理人をおいていましたが、日連グランドは管理人なし。その環境整備は、長い間、少年野球の指導者や保護者のみなさんがボランティアで行ってくださっていたそうです。

市としては、これまでのみなさんの取り組みに感謝しつつ、日連グランドを市の施設として維持管理できるよう、予算化を含め検討していくとのことです。

少年野球のみなさん、長い間、ありがとうございました。そして、これからも子どもたちの健全育成のため、お力をお貸しください。

ボランティアの環境整備にブルドーザーは禁止？

藤野町には 3km ほどの道のりを年に数回、ボランティアでみちづくり作業を行っている自治会があります。路肩の草や土砂を片付けるため、町がブルドーザーを借り上げ、協力して作業をしていました。自治会では町と同様の協力を市に要望しましたが、市はボランティア作業に危険を伴う重機の使用を認めず、人力のみの作業となりました。

しかし、今後は、市は市道の管理者として重機の作業を業者委託で行えるよう検討していくそうです。

ホタルとあじさい祭

6月16日、23日は、佐野川上河原地区でホタル祭りが、7月7日、8日は、和田地区であじさい祭が開かれました。また菅井綱子地区でも7月7日、「ホタルとあじさい祭」を開催。今年はホタルが多く飛び交い、幻想的な風景を楽しむことができました。焼きそば、焼き鳥、おでん、酒まんじゅうなども大好評でした！



綱子（藤野）のアジサイ祭り

サル、いのしし、鹿・・・被害 あちこちで

獣による畑の被害が深刻です。特にサルは網などで囲っても、空砲を撃っても、しばらくすればまた荒らしに来ます。行政に対し、網や電気柵の補助だけでなく、サルの頭数管理を強く求める声が出ています。また、鹿の出没で山ビルの被害も広がっています。

市や県の取り組みの強化と地区住民の理解と協力が必要です。



サルに荒らされたナス畑
沢井地区 7月19日撮影

市になって、変わったなあと実感されることがありますか。新市の一体化を図るために、市は施策を進めていますが、津久井地域とは環境も歴史も異なります。地域の実態に合った施策をどのように行っていくか。合併後の新市づくりは「これから」です。疑問に思うことや市政に期待することなど、お気軽にのものとよしみまでご連絡ください。